

れんごう中越地協

第1173号2025.3.10
連合中越地域協議会
長岡市愛宕3-7-24
TEL 0258-86-0111
FAX 0258-86-0884
発行人 矢島 良彦
http://tyuuetu.net/

定価 1部10円
購読料は会費に含む



春季生活闘争勝利に向け意思統一 各地区で総決起集会を開催

春季生活闘争の重要な取り組みとして、2月27日の県中央総決起集会を皮切りに県内各地区で開催されています。中越地協でも2月28日から、各地区で開催されています。

長岡地区では、3月7日(金)午後6時から「2025春季生活闘争勝利 長岡地区総決起集会」をハイブ長岡で開催し、長岡市内の組合員約110人が参加しました。集会は長谷川副議長の司会で進行し、矢島議長は開会にあたり次のように述べました。

「昨年へ続き、生活・物価高騰に対して断固として賃上げを勝ち取らなければならぬ。正念場である今年、賃上げを実現できなければ、私たち労働組合の未来はない。組合員の期待に応える賃上げを、組合員のために全力で闘ってほしい。そのために、この集会で意思統一を図ってほしい。」と強調し、「新たな『ノルム』を社会に根付かせるため、みんなで声を上げましょう」と力強く呼びかけました。

これを受け、次の加盟組合代表者が春季生活闘争を闘う決意を表明しました。

- 小林さん (自治労・長岡市職労)
- 齋藤さん (UAゼンセン・原信労組)
- 猪股さん (JAM新潟・日本精機労組)
- 和田さん (日教組・新教組長岡支部)
- 佐藤さん (基幹労連・北越メタル労組)
- 内藤さん (私鉄総連・越後交通労組)



みんなでつくる！ 賃上げがあたりまえの社会



符を打ち、動き始めた賃金・経済・物価を安定した軌道に乗せ、新たなステージを定着させる年」と位置づけている。30年にわたり凍りついてきた日本経済のもとで形成された社会的規範『ノルム』を変えるのは『今』だと強調し、「新たな『ノルム』を社会に根付かせるため、みんなで声を上げましょう」と力強く呼びかけました。

民間・医療・公務部門連絡会を開催 春闘山場に向けて情報交換

連合中越地協は、中小共闘センターを発足させ、2月28日(金)午後6時から、社会福祉センター・トモシアおよび魚藤において、民間部門、医療部門、公務部門の部門連絡会を開催しました。今年度の連絡会には、連合新潟から遠藤副事務局長と戸根副事務局長が参加し、各部門連絡会に出席しました。

民間部門連絡会では、長谷川副議長が座長を務め、8構成組織・13組合員が参加しました。



春闘勝利総決起集会

- 長岡地区総決起集会 3月7日(金) 18:00~ハイブ長岡特別会議室
- 見附地区総決起集会 2月28日(金) 18:30~見附市中央公民館
- 小千谷地区総決起集会 3月6日(木) 18:30~サンラック小千谷
- 北魚沼地区総決起集会 3月5日(水) 18:30~小出ボランティアセンター
- 南魚沼地区総決起集会 3月19日(水) 18:30~ふれ愛支援センター
- 十日町地区労決起集会 3月12日(水) 18:30~サンクロス十日町

後半では、渡辺副議長が集会アピールを提案し、五十嵐副議長の開会あいさつの後、矢島議長の「団結ガンバロー」で闘争のヤマ場に向けて決意を新たにしました。

また、会場入口では、フードドライブも行われ、多くの食品等がフードバンクがおかき寄贈されました。

フジテレビの元タレントと女性とのトラブル関与の疑いから端を発した一連のガバナンスの問題は、労働組合の弱体化が一因といえるかも知れない。まず、約1100人も社員の組合員がいないが、オープンシヨップ制とはいえ組合員が80人しかいなかったことに驚いた労働組合の役割は、社員の声を会社に届け、働く環境や生活を守ることである。1人では解決できない問題は組合員組織全体で共有し、声をあげることが大事だが、今回の件はこの役割が果たされていなかったように感じる。もし労働組合の組織がより強ければ、今回の問題ももっと早く改善できたの

あたご3
《No.105》

副議長
長谷川義和

ではないか。今回の件に関する社員説明会における組合員数は80人から500人になったという。労働組合が組織として強化され、要望を出した結果が事態を動かした」と言える。労働組合は経営陣と社員の間の橋渡しの役割を担い、経営陣は社員からの声に対応することで、コンプライアンス違反や不正行為を防ぐことができる。従業員を守るだけでなく企業の健全化にも貢献する存在である。労働組合の存在意義と役割を再認識したと共に、社員組合員においては労働組合に積極的に参加していただきたい。

から31名が参加しました。自己紹介の後、各労働組合から事前調査表をもとに、組織構成、賃金要求や一時金要求のポイント、年次有給休暇の取得状況、価格転嫁・適正取引、ハラスメント対策などの取り組み状況について報告があり、その後、意見交換が行われました。

医療部門連絡会では、急な欠席者がいたため、2単組と連合新潟の戸根副事務局長が参加しました。飯田幹事を座長に、医療職場の厳しい実態の中での春闘の取り組み状況などについて話し合いました。また、公務部門連絡会では、清水事務局長が座長を務め、3構成組織・7組合員から15名が参加し、職場の実態や春闘の取り組みについて議論しました。



第2部は午後7時30分から魚藤で開催され、各部門連絡会の報告と合同交流懇親会が行われました。最初に、矢島議長が「物価高の中で、何としても実質賃金をプラスにしなければならぬ。すべての労働者への波及効果や、労働組合としての社会的責任を踏まえ、しっかりと交渉を進めてほしい」と述べました。また、連合新潟の遠藤副事務局長は「各労働組合の声を直接聞ける貴重な機会に

感謝する。今後の経営者団体や行政への要請行動に反映させたい」と挨拶しました。

その後、番副議長の乾杯の音頭へ続き、各部門連絡会の報告が行われました。民間部門では、長谷川副議長が「賃上げを要求する要求をしてほしい」ということが確認できた。人手不足が共通の課題であり、人材育成の重要性が増している。また、カスタマーハラスメントを含むハラスメント対策の強化が求められている」と報告しました。

医療部門では、飯田幹事が「医療は診療報酬と



中越地協では、2月6日(木)に第99回地協委員会と連合新潟春闘方針説明会を長岡市立劇場で開催する予定でしたが、大雪の影響により、地協委員会は書面開催とし、春闘方針説明会は中止しました。

第99回地協委員会 大雪のため書面開催

中越地協では、2月6日(木)に第99回地協委員会と連合新潟春闘方針説明会を長岡市立劇場で開催する予定でしたが、大雪の影響により、地協委員会は書面開催とし、春闘方針説明会は中止しました。

地協委員会の議案では、昨年10月以降の衆議院議員選挙に関する取り組みをはじめ、主要な活動を報告しました。また、審議予定事項として、各専門部の活動予定、春季生活闘争に関する方針、参

未来づくり 春闘

お知らせ
今月号は紙面構成の関係上、10日発行としました。

連合新潟小林会長 春闘意見交換訪問

春季生活闘争の支援活動の一環として、2月18日(火)、連合新潟の小林会長が意見交換のため民間単組訪問を行いました。

地協からは五十嵐副議長が同行し、北越メタル労組、北越コーポレーション労組長岡支部、大原鉄工所労組、星野製作所労組、厚生連労組中央支部、ユキワ精工労組を訪問し、意見交換を実施しました。

意見交換では、各加盟組合が直面している要求の状況や会社との協議の進捗、価格転嫁の実態、人材確保の課題、その他の労働条件の改善について意見を伺いました。また、連合新潟への要望などについても聞き取りを行い、意見交換を行いました。



みんなでつくる！ 働く仲間の労働組合

第4回地協幹事会を開催 春闘、メーデーなどを論議

連合中越第4回幹事会を3月7日(金)に長岡地区春闘総決起集会終了後同会場で開催しました。報告事項では春闘の取り組み状況の報告など、審議予定事項では、各支部会計も含めた中間決算の取り組み、メーデーについて、参議院選挙方針、支部活動予定などについて議論し了承されました。

メーデーについては、県中央メーデー実行委員会、メインスローガンは「次代につなぐ、平和の願い！みんなでつくる支え合う安心社会」と

確かな未来(あした)を！、全県統一テーマは「物価高に負けない賃上げ！働く仲間が幸せになれる明るい未来(あした)を実現しよう！」に決定したことを報告し、各地区メーデーの準備を進めることを確認しました。

SJネット委員会 第3回委員会を開催

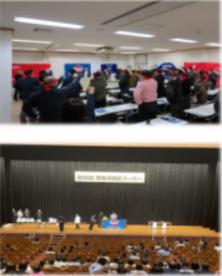
SJネット委員会は、第3回委員会を2月16日(金)18時30分から地協事務所で開催しました。委員会では、メーデーを盛り上げるため、SJ

ネット委員会でプラカードを作成する方法について話し合い、原図を長岡市内在住の絵本作家とコラボで作成することになりました。次回委員会で作家の方とセッションを行い作成する予定です。

南魚沼支部 総会を開催

南魚沼支部では、2月28日(金)に第17回支部総会を開催しました。2024年度の活動、会計報告について承認いただき、向こう1年間の重点課題や活動計画について確認をしました。働く環境が大きく変わる中、労働組合の連帯的役割は一層重要になってきており、南魚沼支部においても活動を活性化していくことの必要性について再確認する有意義な会となりました。

2024 第17回
連合南魚沼支部総会



連合中越地域協議会 南魚沼支部
2025年2月28日(金)18:30～ 全出席

北魚沼支部 春闘総決起集会を開催

3月5日に魚沼市ボランティアセンターで春闘総決起集会を開催しました。中越地協からは横澤事務局長からあいさつにて、春闘方針の要旨をお話しいただきました。

各単組からの報告では要求内容や交渉状況のほか、若年層の取り組みや36協定に関する時間外勤務の状況、ハラスメント対策などについて情報共有や意見を交わし、春闘のヤマ場に向け結束を固めました。



ながおかワーク&ライフセミナー 第6講座 「可能性を支援する」ということ

2月15日(土)、社会福祉センター「トモシア」にて、「ながおかワーク&ライフセミナー」第6講座「可能性を支援する」ということ！が開催され、32名が参加しました。

本セミナーは、長岡地区労働者福祉協議会(長岡地区労協)が毎年主催し、今年度は全7講座が予定されています。第6講座は、障がい者の雇用

促進と社会参加を支援する「コロナブ株式会社」が企画・開催。司会のコロナブ代表・佐々木さんは「日本には約一千万人の障がい者が、不登校30万人、発達障害の可能性のある子どもが8.8%いる。障がい者が社会に出るには何が必要か、一緒に考えたい」と挨拶しました。次に、主催者を代表して矢島会

長が「長岡地区労協は、地域の労働者福祉や高齢者福祉の向上を図り、安心・共生社会の実現を目指しています。セミナーを通じて生活者の視点でつながりを持つことを大切にしています。本日は障がいに関心を持っていただきありがとうございます。障がいとは個性です。障がいとは個性であるという視点を持ち、同じ目線で考えていきたい」と挨拶しました。

続いて、新潟大学の学生が制作した映画『Voice』の上映。この映画は、地域で活動する障がい者の姿を描き、学生が直接インタビューを行いながら、障がい者理解の一助とするものです。上映後、制作に携わった近さんが「無料上映が可能なので、各地域で活用してほしい」と呼びかけました。

休憩時間には、コロナブが運営する就労継続支援A型作業所「Abou t me」のドリップコーヒーが提供されました。その後、新潟・長岡の

若者サポートステーションのコーディネーターが、15〜49歳の若年無業者の就労支援について説明。支援内容には相談、セミナー、職場体験、定着支援、訪問相談などがあり、一般就職を目指すつづ、障がい者には福祉的支援につなぐ場合もあると紹介されました。「その人の得意を活かすことが重要」「会話の壁を取り除く工夫が必要」といった意見が述べられ、最後に佐々木さんが「支援は100人いれば100通り。誰もが働きやすい社会を目指そう」と締めくくりました。本講座を通じて、「会話すること」「本人の得意を知ること」の大切さを再認識し、共存できる社会の実現が求められていることが強調されました。

長岡地区労協
・今井事務局長



「可能性を支援する」ということ！が開催され、32名が参加しました。

本セミナーは、長岡地区労働者福祉協議会(長岡地区労協)が毎年主催し、今年度は全7講座が予定されています。第6講座は、障がい者の雇用促進と社会参加を支援する「コロナブ株式会社」が企画・開催。

司会のコロナブ代表・佐々木さんは「日本には約一千万人の障がい者が、不登校30万人、発達障害の可能性のある子どもが8.8%いる。障がい者が社会に出るには何が必要か、一緒に考えたい」と挨拶しました。次に、主催者を代表して矢島会

Hirabayashi Yumina Piano Recital

2025年 3月22日(土) 14:00～ (13時半開場 14時開演)

会場：ニューオータニ長岡 NCホール

ピアニスト
平林 弓奈

花岡千春、矢部良の両氏にピアノを学ぶ。武蔵野音楽大学付属高校を卒業と同時に東京音楽大学付属短期大学に入学。ピアノ、室内楽、フルオーケストラを専攻。デビューして卒業。その後、東京音楽大学でピアノを専攻。2010年、東京音楽大学でピアノを専攻。2010年、東京音楽大学でピアノを専攻。2010年、東京音楽大学でピアノを専攻。

program

- リスト 「タンタを読んで」 「愛の夢」 第3番
- ガーシュイン 「ラプソディ・イン・ブルー」
- ドビュッシー 「月の光」

チケット代 (全席自由)
一般 1,500円
学生 500円 (小学生～高校生)
※当日200円増
※未就学児の入場はお断りします

リサイタル主催団体 長岡フランス音楽会 協賛 原信労働組合

ながおかワーク&ライフセミナー第7講座 『平林弓奈ピアノリサイタル』に無料ご招待

ながおかワーク&ライフセミナー第7講座は文化活動の応援として、長岡市を拠点に活動されているピアニスト平林弓奈さんのピアノリサイタルに申込み先着100名様を無料ご招待します。

ながおかワーク&ライフセミナーは、「助け合い、支え合い」を理念とする「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現を目的に今年度は7つの講座を開催しています。この事業は公益財団法人新潟ろうきん福祉財団の公益支出事業を主たる財源として開催しています。

ながおかワーク&ライフセミナー主催団体：長岡地区労働者福祉協議会
共催 (公財)新潟ろうきん福祉財団 (一社)新潟県労働者福祉協議会 後援 長岡市・長岡市教育委員会

問い合わせ TEL 0258-86-0111 (平日:9:00~17:00)
申し込み先 FAX 0258-86-0884 申込みはこちらから
メール nagaokarouhukuyou@gmail.com (Googleフォーム)

